

みんなで日高自然体験！（冬編）

趣旨 日高の自然に親しむ体験活動をととして、親子の絆を深めるとともに、子どもたちの生活習慣の改善を図り、自立する力を身に付ける機会とする。

企画運営のポイント

1. スキーレッスンのほかに雪の活動を複数取り入れたプログラムとし、子どもたちにその魅力を体験してもらう機会とした。
2. ナイトハイク（スノーシューハイク）の解説を専門的知識のあるネイチャーガイドに依頼したことで、参加者の興味・関心を高め、継続的に冬の自然に親しもうとする態度の醸成を目指した。

期日 令和5年2月4日（土）～2月5日（日）

対象 連携団体に所属する親子

人数 小学生2名、未就学児1名、保護者3名、引率職員1名 計7名

内容

2/4（土）

- ① 開会式
- ② オリエンテーション
- ③ アイスクリームづくり
- ④ スノーラフティング
- ⑤ ナイトハイク（スノーシューハイク）

外部指導員 自然考房

2/5（日）

- ⑥ スキーレッスン
- ⑦ 閉会式

外部指導員 ひだか高原スキー学校



参加者の声

- ・子どもも初めてですが、大人もなかなか普段できないことを一緒にできたことがとてもよい経験になりました。
- ・スキーに出会い、楽しさを感じることで、北海道の長い冬も楽しく生活できるようになると思いました。
- ・自然の中でやってはいけない、「ダメ！」などと怒られずにのびのびと雪まみれになって転がる子どもの様子に感動しました。
- ・ホテルとはちがう宿泊場所での生活に戸惑いもありましたが、自分のことは自分で取り組むことの大切さに気づきました。

【成果】

- ・アイスクリームづくりやスノーラフティング等の親子単位での活動を通じて、親子が協力し合い、積極的にものごとに取り組む様子が見られた。
- ・ナイトハイク（スノーシューハイク）の翌日の屋外活動の際にも、参加者は動物の足跡や樹木を注意深く観察しており、冬の自然に対する興味・関心を高めることができたといえる。

【課題】

- ・親子単位や屋外での活動を取り入れた反面、連携団体内の保護者どうしが落ち着いて交流する時間が短くなった。团らんの要素のある屋内活動の展開も検討したい。